



平成 30 年 3 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 大 石 清 恭
(コード番号 4813 東証マザーズ)
問 合 せ 先 コーポレート本部長 森 田 善 之
(T E L . 0 3 - 6 8 5 3 - 9 0 8 8)

剰余金の配当（見送り）に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月 15 日開催の取締役会において、下記のとおり平成 30 年 1 月 31 日を基準日とする剰余金の配当については、これを行わないことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 29 年 11 月 30 日公表)	前期実績 (平成 29 年 1 月期)
基 準 日	平成 30 年 1 月 31 日	同左	平成 29 年 1 月 31 日
1 株 当 たり 配 当 金	0 円 00 銭	未定	0 円 00 銭
配 当 金 の 総 額	—	—	—
効 力 発 生 日	—	—	—
配 当 原 資	—	—	—

2. 理由

平成 30 年 1 月期の期末配当予想につきましては、前回公表時点（平成 29 年 11 月 30 日）では未定としておりました。

当社は、株主に対する利益還元を重要な課題の一つとして位置付けており、利益配分につきましては、内部留保の充実等に留意しつつ、事業展開の状況と各期の経営成績を総合的に勘案して安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。当事業年度におきましては、平成 29 年 4 月 19 日に開催されました当社第 33 回定時株主総会において資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行い、個別財務諸表上の繰越欠損を全額解消して財務体質の改善を図り、今後の安定的な利益還元に向けた環境整備を進めてまいりましたものの、連結業績・個別業績ともに当初想定あるいは前事業年度実績を下回る利益水準となったことから、誠に遺憾ながら配当を見送らせていただくことといたします。

(ご参考) 年間配当の内訳

基 準 日	1 株 当 たり 配 当 金		
	第 2 四 半 期 末	期 末	年 間
当 期 実 績	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭
前期実績 (平成 29 年 1 月期)	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

以 上